2022年9月　5日　第8号

２０２２～２０２３年度
小倉中央ロータリークラブ週報

イマジン
ロータリー

例会日　月曜日　12:30～13:30
例会場　リーガロイヤルホテル小倉
事務所　小倉北区堺町1-2-16-3F
TEL　093－531－4015
FAX　093－531－1022

第１２７２回　本日の例会　9月　5日(月)

本日の例会　「メディアリテラシーとジェンダー　」
西日本新聞社北九州本社
執行役員北九州本社代表　甲木正子氏

会長の時間（８月２９日　１２７１回 例会記録）　林田会長

２００７年１０月、主人が喉が痛いというので病院に行きました。

「風邪です、異常ありません。」と言われたのですが、その後の 12 月の PET 検査で食道がんが見つかりました。即入院いたしまして、放射線治療を受けることになりました。3ヶ月間入院して自宅療養となりました。手術のできない場所にあるということでした。

その時佳子に「おとうちゃまは、あと２年だよ。」と言われました。

ガーンと頭を殴られたような、一瞬どうしていいかわかりませんでした。

佳子はその時、熊本和泉市の医療センター勤務でしたが、辞めて産業医大に帰って来てくれましたので、大変心強く思いました。

その年の暮、今度は私が薄いピンク色のオシッコが出ました。ちょうど佳子がそばに居ましたので、「お姉ちゃん、おとうちゃまの具合が悪いからストレスかな。」と言ったら、「ちょっとおいで、私が見てやる。」と言って産業医大に連れて行かれて、そのまま入院となりました。受け持ちの先生から「3 クール致します。それでだめなら４クールです。」と言われて、暢気な気持ちで、「はい、お願いします。」と言ったのですが、娘から死ぬほどきついらしいよ、と言われました。だけど、今まで健康だけが取り柄で、病気はお産で入院したぐらいでしたから、死にはせんじゃろうと言って入りました。

ところが、それからが地獄でした。入院してすぐ抗癌剤。１本目で髪の毛は全部抜けました。一週間あけて白血球の戻るのを待って２本目。もう一度白血球の戻るのを待って３本目。これで１クール１か月です。でもまだ１クール目は自分の体力がありましたが、１ヵ月休んで２クール目。同じように抗がん剤を打ち込むのですが、口の中の皮はぜんぶ破れ、吐き気、臓器が全てやられるので、まず肺がやられて呼吸がしにくい、動くこと歩くことも出来なくなり、体の置き場所が無い、先の見えない真っ暗な穴ぐらをもがいて歩くような感じでした。どうにか光を見つけたかったので、私は昔から好きだったグレースケリーの住んでるお城が見たい、見るまでは頑張ろう！まだ死なれん。それまでは、と思いました。３クール目も同じ様に打つのですが、１週間たっても白血球が戻らなくなりましたので、白血球を上げる薬を注射してそれでも上がらないときは、輸血をしてどうにか３クール目を６か月かけて終わりました。運よく抗癌剤が効いて癌細胞は小さくなりました。小さくなったがん細胞は取りましたが、膀胱は全摘出したほうがいいでしょう、ということでした。

主人が丁度２年の闘病生活で亡くなりましたので、四十九日の法要をすませてから、膀胱全摘し、動かない腎臓も片方取りました。

大手術でしたが、抗がん剤投与に比べたら楽でした。同じように癌になって、手術できた自分は残ってもう１３年です。手術出来なかった主人は亡くなりました。癌は痛くも何ともありません。皆様、いつもと違う違和感、異常を感じたら早期に病院で検査が大事ですよ。

出席報告　８月２９日

在籍会員数	４０名
義務出席者	３８名
ゲスト	０名
ビジター	０名
本日出席数	３３名
本日出席率	86.84%
前々回修正出席率	90.00%

次回（９月１２日）の卓話

梶原　謙吾会員

9月のお誕生日

２日　細川　忠広会員
２日　田村　雅史会員

今月の主な予定

5 日(月)　定例理事会
17 日(土)　R 財団補助金セミナー（オンライン）
17 日(土)　米山カウンセラー研修会

〃

幹事報告　　古川幹事

・本日は特にありません。

ニコニコ献金報告

累計　　１３３，０００円

林田・古川・野口会員―長山さん、本日の卓話、よろしくお願いします。
長戸会員―長山さん！本日、卓話、宜しくお願いします。
大西会員―先週の囲碁教室、とても楽しく勉強になりました。
巫部先生、ありがとうございました。
鍋島会員―元気になりました。

合計　１０，０００円

祝お誕生日祝い―鍋島律子会員

地区インターアクト委員会報告

先日、地区のインターアクト委員会で研修旅行の視察で河野会員と一緒に壱岐に行ってきました。　　撮影：狩野

卓話の時間

「　自己紹介　」　　長山洋子会員

私は、1978年11月2日に双子の姉（のちに4姉妹になりますが長女）として、そして川原建設の孫として二人で生まれました。私が育った環境は、職人の方言が飛び交う騒がしく活気に溢れる環境でした。双子で育ったせいもありいつも比べられる状況のなか、双方どちらも負けず嫌いな性格に成長してしまいました。双子というのは漫才の相方の様なもので、今では「ボケとツッコミ」が上手くいく良いコンビとなり一緒に経営をしています。

祖父が残した弊社は本年創業65年を迎え、住宅部や不動産部も設立でき、お客様に提供できることやものが増えていくことに喜びを感じています。これもひとえにお客様や関係者、スタッフの皆様のお陰だと思っています。一時は倒産危機に陥った時期もありましたが、家族の支えや応援してくれる関係業者の皆様のお陰で乗り越えることが出来ました。また、同時期に入会した青年会議所では、自分の考えを180度変えられたと感じています。何事にも適当に日々遊んで過ごしていた自分を変えてくれました。辛かった倒産の危機や、きつかった青年会議所の日々の経験は、私にとって大きな財産となりました。青年会議所の地域貢献から、ロータリーに入会し更に奉仕の精神というのは大きなテーマだと感じています。まだまだ小さくて、吹けば吹っ飛ぶような会社ですが、これからも志は大きく、地域の方々や子どもたちの「夢」をかたちへしていけるよう自分自身を磨いていきたいと思っています。

林田会長が仰られたように、よこの繋がりをしっかり育んで大切にしていきたいと思います。いつの日か、縦の繋がりと併せて人を暖かく出来るようになりたいです。（何かの歌詞みたいですね）ありがとうございました。